

岡山大学新聞

特集：80大学祭



軽音フォークが十万人の赤字を覚悟で送る一大ロックンロールイベント。
桑名正博の妹で大阪をホームグラウンドに活躍している桑名晴子はベテランミュージシャングループ「ペーカーズ」のバックにニューミュージック系のロックを歌いまくる。
東京から来るリーゼント野郎クルスはタイトでシャープなロックンロールのリズムが身上、これに対する大阪の誰がカバやねんロックンロールショーはその名前からも想像できるようにコミカルで楽しいステージを繰り広げてくれるだろう。
二三日 清水記念体育館にて。開場午後四時、開演午後五時。入場料前売り一三〇〇円、当日一五〇〇円

軽音FOLK

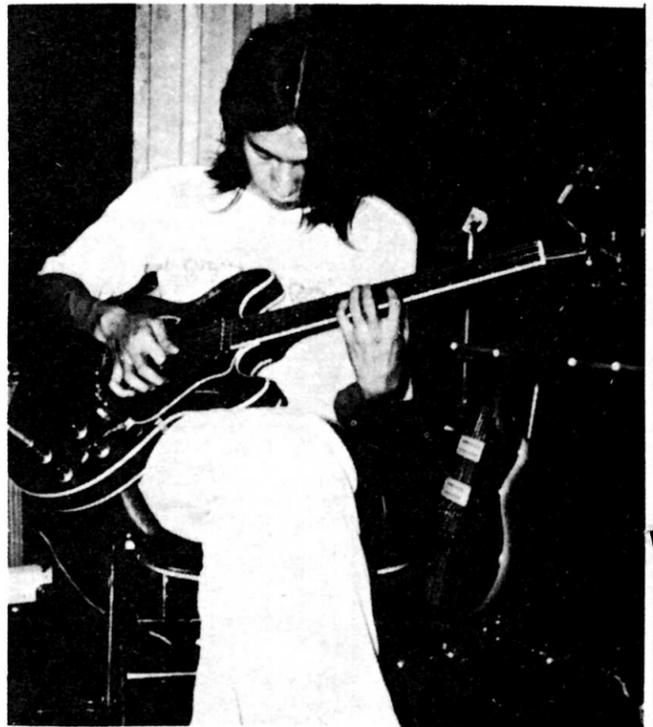
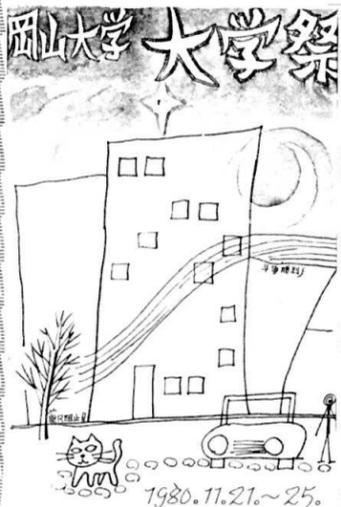
桑名晴子・クルズ

誰がカバやねんロックンロールショー



発行所
岡山大学新聞会
岡山市津島中
岡山大学学友会内
電話 52-1111
(内)791
振替 岡山5282
発行人 土屋 勝
編集人 昇 浩志
一部 70円

今年も十一月二日から二五日までの五日間大学祭が開催される。キャンパスは展示・コンサート・バザー、とお祭り一色に塗りつぶされることであろう。
しかし一見平和そうなこの岡大でもサークル棟問題、魔寮攻撃など教育再編・学内治安弾圧が表面化している。一方ではそれらの攻撃に抗し切れない個々バラバラの人間状況が厳然としてあるだろう。
その様な状況下で行われる大学祭は、そして展示からバザーまでの全企画はそれ自身状況を内包しているものである。
新聞会は状況の切開と変革への一歩として今回の大学祭特集号を発行。各団体の企画をとりあげ、またより明確に攻撃の本質を明らかにするものである。



軽音ROCK SUPER JOINT

和田アキラ(プリズム)

+ 森園勝敏(バースアイビュー)

二四日午後五時、清水記念体育館で日本の若手ロックギタリスト、和田アキラと森園勝敏のスーパージョイントコンサートが開催される。
和田アキラは七六年デビュー以来日本のフェイジョンミュージックシーンをリードしてきたプリズムのリーダー、対する森園勝敏は七一年に日本初の本格的プログレッシブロックグループとしてデビューした四人子のオリジナルメンバーであり、二人ともテクニク派のギタリストであるだけでなく日本人の好みにあったメロディアスな曲作りが特徴である。
入場料は前売り千円



JAZZ研究会

岡大JAZZ祭古澤良治郎 5

23日午後5:30 学館ホール

毎年JAZZ研が主催し、古澤良治郎は一九四五年でプロのミュージシャンに仙台生れ。国立音大在学中よりJAZZ演奏を開始し、自己のグループでの活動の目的は今年オーソドックスなJAZZを聞かせる古澤良治郎クインテットが出演する。
リーダーでドラムス担当 (ts)・廣本光一(g)、



▼この春、酒タバコ値上げ、国鉄運賃値上げと種々の公共料金が値上げとなつたが、いままた郵便料金の値上げが行われるとのことである。経済危機の進行が値上げにはねかえってきているのだ。▼大学生にとってもきびしい、値上げ、値上げであるが、大学生にとってきびしい値上げは、まだ他にもあるようだ。それは学費の値上げである。入学年度によって、授業料、入金等が異なるので、いったん大学にはいってしまえば学費値上げといっても、びんとこないかもしれないが、この値上げには、さまざまのものがあふ。ちなみにここ六年度の授業料を見てみよう。75年三万六千円、76・77年九万八千円、78・79年十四万八千円、80年十八万四千円、なんと6年間で、5倍の値上げである。そして、さらに本年度には、学部格差を導入した値上げが行なわれようとしていることだ。▼文部省は、「私大との学費是正」という一枚看板で、この学費値上げを理由付けてきているが、義務教育における教科書の一部有償化をも行なわんとしている。行政機関において、その背後に何もならうはずがない。相次ぐ、値上げで生活が苦しくなるからといって生活に追われてしまふのも、いたしかたないことかもしれないが、このすさまじい値上げが、防衛論議に、ご執心の国家行政機関の施策としてあるのだということを、厳しく見すえておかななくては、ことは値上げどころの話に、届まるものではないといつてよいだろう。▼今回の郵便料金の値上げ決定の、首相鈴木本人、首相就任前には、郵便料金の値上げに反対しているというのも、また、おもしろいことだ。